

作成 2002.9.24

# オーロラブラインの防腐対策

東京ファインケミカル株式会社

〒 105-0003 東京都港区西新橋 1-4-14

Tel 03-3506-7666

Fax 03-3506-7671

## 1. はじめに

グリコール系ブラインは、使用条件により空気中の雑菌の混入で腐敗が発生することがあります。一度腐敗が進行すると、ブライン中の有機物を餌として菌の繁殖が盛んになり、臭気やカビの発生につながります。

腐敗が進行したブラインは、防錆効果の低下を招くと共に、スライムの付着が発生し、装置の能力低下やトラブルの原因になります。

## 2. 保守管理について

- ① オーロラブラインには防腐剤が配合されていますが、ブラインを低濃度に希釈した場合にはその効果が不足します。従って、防錆効果の面でもオーロラブライン濃度は30%以上で使用するものとしております。

以上のことから、定常の濃度測定を行い適正濃度に維持することで通常は管理が可能です。また、定期的な分析時に防腐性のチェックを行うことで確認できますが、使用中に腐敗臭や泡立ち等の外観異常がある場合には、サンプルと共に「オーロラブライン分析依頼者」に必要な事項を記入の上、弊社横須賀工場へ送付して下さい。

- ② 腐敗防止対策

結露による水の発生及び液面調整用自動給水が濃度低下の原因として考えられます。

また、空気中の雑菌混入も原因の一つです。

これらの防止策として

ア) 貯槽タンクへの空気導入を極力減らす。

イ) 補給（補充）にはブライン液を使用する。

ウ) 循環液の一部を膨張タンクに戻すラインを設置する。

エ) 装置の長期停止時は、1週間に1回1時間以上のブライン循環を行ってください。

- ③ 腐敗時の対処

ア) 通常は、弊社補充用防腐剤「オーロラブライン防腐剤」の添加で対処できます。

イ) 腐敗が進行して浮遊物が確認できる時は、これを除去した後に上記防腐剤を添加します。